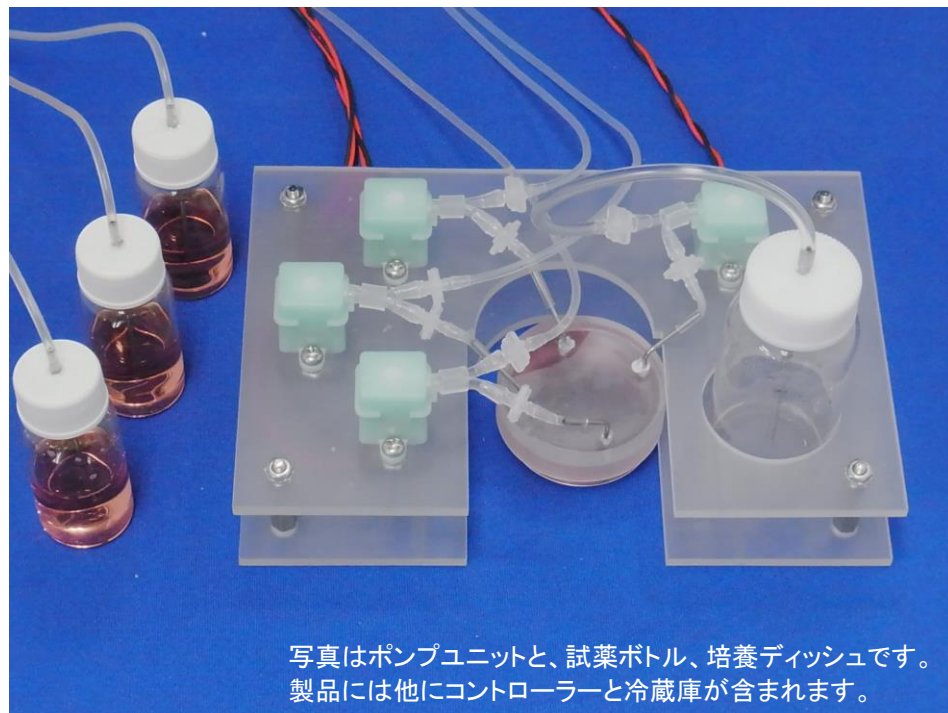


BIOTECH PRODUCT 分化誘導システム



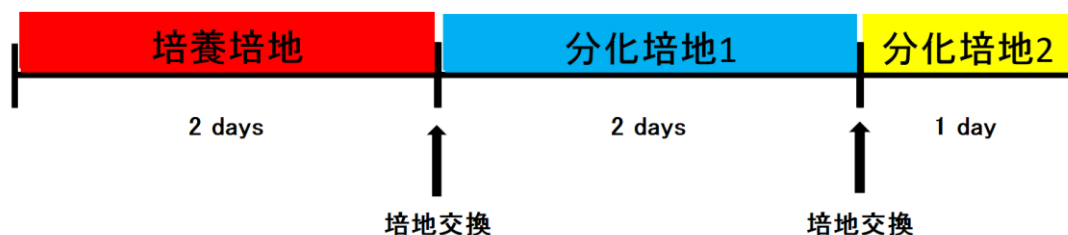
写真はポンプユニットと、試薬ボトル、培養ディッシュです。製品には他にコントローラーと冷蔵庫が含まれます。

培地の入れ換えや分化誘導試薬の導入を自動化

特長

- 分化培養で使用する複数の培地の入れ替えや試薬導入を、お手元のPCで簡単にプログラミングできます。あとはスタートボタンを押すだけで、培地、試薬の注入・排出が全て自動で行われます。培地交換や試薬導入の時期がたまたま休日や夜間にかかっても安心。手作業より再現性も高いです。
- コントローラーと最大8個のポンプ、そしてボトルを格納する冷蔵庫で構成されています。これで最大7種類の培地・試薬注入を自動化できます。
- ポンプユニットは培養ディッシュとともにお手持ちのインキュベーター内に格納できます。
- カスタマイズにより、トランスフェクションの自動化にも対応できます。

培地交換パターン例

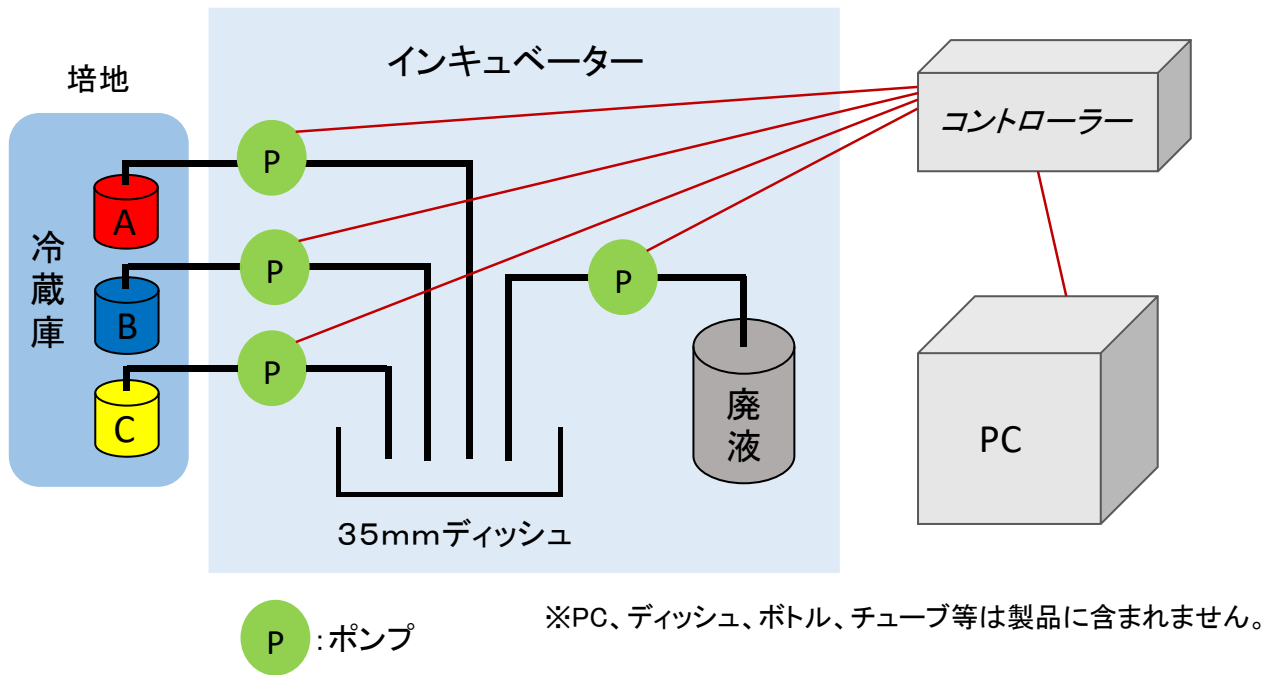


※製品の仕様等は予告なく変更することがあります。

高砂電気工業株式会社

〒458-8522 名古屋市緑区鳴海町杜若66 TEL: (052)891-2301 FAX: (052)891-7386
E-mail: info@takasago-elec.co.jp URL: <http://www.takasago-elec.co.jp/>

システム概要図(培地 3 種を扱う例)



PC 設定画面

FlowController 1.00

MODE

Manual

Medium Exchange

Perfusion

Gradient

MENU

COM Port

OPEN

SAVE

RESET

EXIT

ポンプの動作開始、停止、一時停止などをコントロールできます。

INPUT START STOP PAUSE PROCESS PAUSE ERROR CLEAR

	1		2		3		4		5	
	Volume	Pause	Volume	Pause	Volume	Pause	Volume	Pause	Volume	Pause
Ch1	2		0		0		0		0	
Ch2	0	2880	0	0	2	2880	0	0	0	1440
Ch3	0		0		0		0	0	2	
Ch4	0		2		0		2		0	

シーケンス設定
注入する培地量、注入後の静置時間等を、ポンプごとに設定します。

このプログラムを実行した場合

- ① 培地 A を 2ml 注入。2 日間静置。
- ② 培地 A を 2ml 排出。
- ③ 培地 B を 2ml 注入。2 日間静置。
- ④ 培地 B を 2ml 排出。
- ⑤ 培地 C を 2ml 注入。1 日間静置。